

平成25年度協議会の活動が始まりました！

平成25年5月19日(日)に、平成25年度 第1回まちづくり協議会を開催しました。

当日は13名の会員に出席いただき、今年度の協議事項及び予定について協議した後、駅周辺の街並みイメージの検討についての協議を行いました。



平成25年度の活動予定

平成25年度は、昨年度のまちづくり協議会で議論した **ホッとさんむ** の実現に向けて、街並み・デザインのイメージを議論する予定です。

まちづくりテーマの実現に向けた
“街なみ・デザインのイメージ”

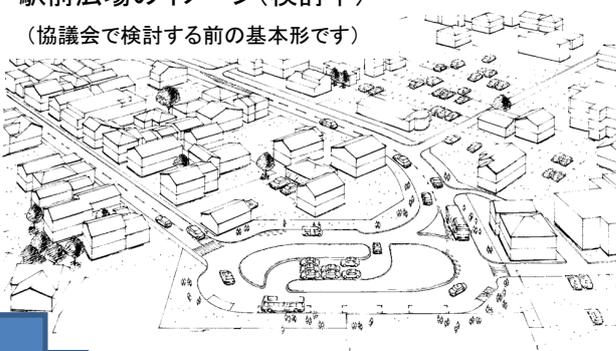
駅周辺の街並みイメージ(第1回～第3回)

詳細設計に伴う駅前広場・南口線のデザインイメージ
 (第4回～第6回)

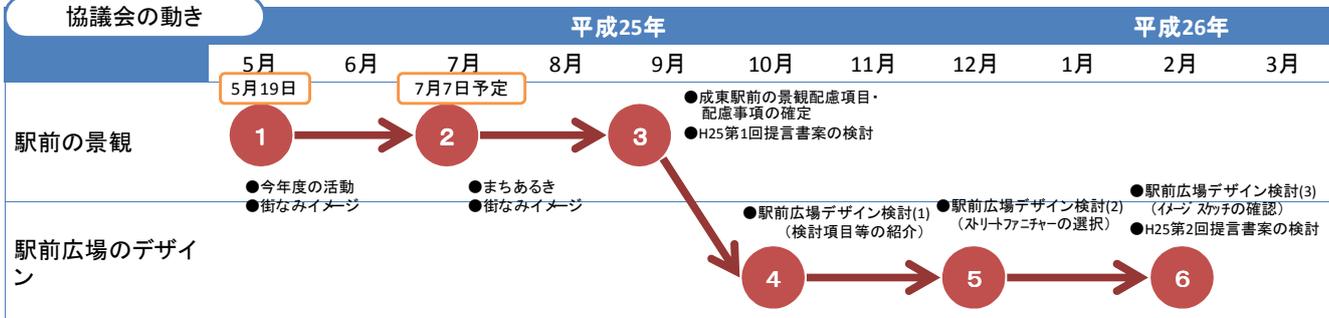
街並みの雰囲気や駅前広場・南口線の街路樹、舗装材等をイメージスケッチに加えた協議会の案を作っていく予定です。



駅前広場のイメージ(検討中)
 (協議会で検討する前の基本形です)



協議会の動き



主な意見交換の内容

協議事項1

今年度の活動目標と予定について

分類	主な発言内容
協議対象について	●街並みは山武市全体に議論が広がるものであるが、駅周辺に限定して議論を進めてほしい。
景観について	●地域の特徴として「槇の生け垣」があるが、外から庭先の雰囲気を感じることができるオープンで良いものだと思う。 ●景観形成は、生け垣の維持管理など個人の費用負担が発生することから、何かしらの支援が必要だと考えられる。 →市内には花の手入れをするグループがあるが、同じように生け垣の手入れをするグループづくりを協議会が提案することも考えられる。(中谷C/D) ●庭先については、個人の趣味や理想があり、生け垣を特定の樹種で統一するのは押しつけになると思うので、緩やかなルールとした方が良い。
その他 (観光案内、まちおこし、成東駅停車場線の活用)	●成東駅前あじょすっ会では、駅前を起点としたハイキングコースを考える予定。 ●山武市の玄関口として駅前でのPR方を考えてはどうか。 →ソフト面については、時期を見て観光案内所の活用などを議論、提案してはどうかと思う。(中谷C/D) ●山武市は平坦な地形が多いので、駅前からレンタサイクルを使って海まで移動するなどの方策を考えると良い。 ●成東駅南口線が整備されると、成東駅停車場線は路線バスが通過しなくなるため、歩行者天国などとしての活用を行ってはどうか。

協議事項2

駅周辺の街なみイメージの検討について

分類	主な発言内容
景観に関するアンケート結果について	●駅周辺の景観の評価が低い傾向にあるが、色々な要因があり難しい問題だと思う。 ●年代や性別などで感覚に差があると思うが、周囲と調和しない色彩の建物が建つことなどは問題があると思うので、何かしらの指導が必要だと感じる。
次回協議会(まち歩き)のポイントについて	●まち歩きやルール作りの議論の際、どのような意見交換を行うことが望ましいか。 →景観上、「継承していきたいもの」、「改善していきたいもの」は何かという観点で議論していただくのがポイントになると思われる。(事務局) ●環境デザインに関する初心者向けの図書紹介を行ってほしい。

※C/D:コミュニケーション・ディレクターの略。

次回(7/7予定)は「まち歩き」を行います。
継承すべきもの、改善すべきものを発見し、意見交換を行います。

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。
なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースで紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課
成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局
〒289-1392 山武市殿台296

ファクス:0475-82-2107

電子メール:toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。



まちあるきを行い、まちづくりに活かしたい ポイントを議論しました

平成25年7月7日(日)に、平成25年度 第2回まちづくり協議会を開催しました。

当日は9名の会員にご参加いただいたほか、中谷正人コミュニケーション・ディレクターの声かけにより、千葉大学の学生8名にもご参加いただき、成東駅前～成東駅南口線予定地～上町・下町のまち歩きを行いました。

まちあるき終了後に、今年度の協議事項及び予定について協議した後、駅周辺の街並みイメージの検討についての協議を行いました。



成東駅前の城西国際大
キッズライブラリに
集合して出発！



駅を出てすぐに広がる街
並みを確認しました！



上町・下町の街並みの
特徴や素敵なお店につ
いて意見交換をしながら
歩きました！



まちあるきのおさらいを通
じて、「ホッと」を実現す
るために、どのような街並
みが必要かを議論



主な意見交換の内容

分類	主な発言内容
建築物の高さ	<p>【比較的低めの建物の街並みが良いというご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在の街並み(主に1~2階建て)は、歩行者の視点から圧迫感を感じない。 ●成東らしさを考えると、今後も現在と同じ程度の高さが良いのではないか。 ●高い建物は「まちのアクセント」になるが、高い建物が建ち並ぶと、山武らしいふるさとの風景から離れてしまう気がする。 <p>【やや高い建物がある街並みも良いというご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高い建物があっても良いと感じるが、住宅街にあっては良くないと感じる。
まちなかの路地や小径	<p>【路地空間に魅力を感じるというご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建物間隔が狭い路地空間は歩きたくなる。 ●路地、細い道はワクワク感がある
作田川や水路	<p>【作田川の穏やかさや、まちなかの水路に魅力を感じるというご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●作田川のゆったりとした流れが良いと感じた。 ●水路がある風景が良い。
後背に広がる丘陵地や浪切不動尊の眺め	<p>【丘陵地や空の広がりを感じるというご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちのどこからでも背景の丘陵地と空が見える風景を大切にしてほしい。 ●建物が連続する中で、開けたところで山が見える風景は迫力があって良い。 <p>【浪切不動尊が見える景観に魅力を感じるというご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新町公民館付近から見える、昭和橋、作田川、波切不動尊及び背景の山という景観の連続性が良い。 ●駅や東金線から見える波切不動への眺めの良さが、成東の特徴だと思う。
屋外広告物	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺景観への配慮を行っていく方が良いのではないかと思います。
敷地形状の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●間口(道路に面する幅)が狭い敷地が多いと感じた。店舗などの場合は道路側に建物を寄せる傾向があるので、ゆとりある街並みを作るのは難しいと感じる。
敷地内の緑化	<ul style="list-style-type: none"> ●上町・下町は緑が多く、自然との一体感など、良い印象を持った。 ●塙の高さが高いと感じられる箇所もあった。
街並み全般	<ul style="list-style-type: none"> ●上町・下町の古くからある街並みの良さを活かしたまちを目指してほしい。 ●山武のイメージは山(森林・山武杉)と海だと感じている。 ●街並みのルールを作るか、個人に委ねるかで景観は大きく変わると感じる。
その他(観光)	<ul style="list-style-type: none"> ●初めて山武市を訪れる人にとって、駅前に案内看板がないのは不親切だと感じた。 ●市内で特産品を買う場所が少なく、観光要素の良さを活かしきれていないと感じた。 ●駅前でイベントなどの実施も行っていく必要があると思う。



次回(9月開催予定)は「成東駅前の景観配慮事項」について検討を行います。

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースで紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課
成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局
〒289-1392 山武市殿台296

ファクス:0475-82-2107

電子メール:toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。



成東駅周辺で目指す 街並み景観のルールについて話し合いました

平成25年9月29日(日)に、平成25年度 第3回まちづくり協議会を開催し、19名の会員に出席いただきました。

当日は、成東駅南側周辺の整備に伴い、今後街並みが変わっていく「成東駅南側地区」で望まれる「街並み景観のルール」について話し合いました。

話し合った内容(街並み景観形成の目標、区域、配慮事項の案)は、次回協議会で改めて確認し、協議会の提案事項としてとりまとめる予定です。



街並み景観形成の目標(案)

まちづくりのテーマ

ホッとさんむ
ふるさと九十九里の玄関

を実現するための具体的な目標

目標1

歴史・文化資源を活かした景観づくり

目標2

広がる自然と共存できる景観づくり

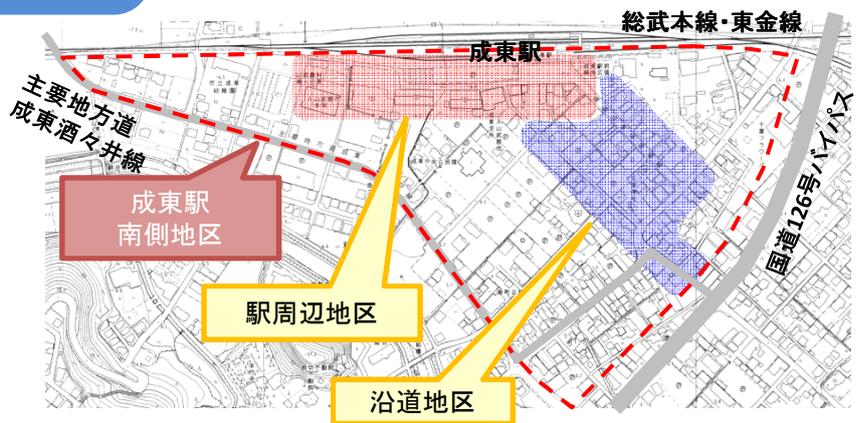
目標3

人と人との交流が生まれる景観づくり

街並み景観形成の区域(案)

成東駅南側周辺の整備に伴い、今後街並みが変わっていく範囲を「成東駅南側地区」とします。

なお、重点的な街並み景観の検討が必要となる地区として、駅前広場との関連性の高い「駅周辺地区」と成東駅南口線等の道路沿道となる「沿道地区」を設定します。



街並み景観形成の配慮事項(案)について

分類	配慮事項(案)	当日出た 主な意見等	
「成東駅南側地区」の共通事項	1. 建物の高さ	● 現在の街並みの雰囲気を継承するため、周辺地区の街並みとの連続性に配慮し、周辺から著しく突出しない高さとします。	
	2. 建物の色	● 建物の外壁には原色の使用は避けるなど、現在の街並み景観と調和する色彩としていきます。	具体の色の基準は難しい内容なので協議会では議論しないという意見がありました。
	3. 建物の配置	● 歩道を歩く人が建物の圧迫感を感じにくくするため、道路境界部から一定程度離れた場所に建物を建てるよう努めます。 ● 建物と建物の隙間を通した眺望景観(浪切不動や斜面緑地など)を楽しめるよう、隣棟間隔の確保に努めます。	電柱の圧迫感を解決するため、電線の地中化を盛り込みたいという意見がありました。
	4. 敷地内の緑化	● 敷地内はできる限り緑化を図り、背景の山の緑との連続を図ります。	
可能なものを選んで取り組んで戴きたい事項(店舗等)	5. にぎわいの演出	● 道路に面した店舗は、閉鎖的なつくりせず、通りを歩く人が店舗内での活動を感じられるよう工夫します。 ● 道路に面してシャッターを設置する場合には、まちなぎわいを分断しないような工夫をします。 ● 建物の後退部分には、フラワーポットや花壇などの取り組みに努めます。 ● 道路境界部分における空間において、歩行者が休むことができる日陰の休憩スペース(山武杉のベンチ・オープンカフェ等)等の確保に努めます。	すべての内容を完全に網羅する必要はないという意見がありました。
	6. 付帯設備	● 屋上や外壁等に設ける建築設備は、通りから目立たないような配慮をします。	
	7. 看板・屋外広告物	● 著しく目立つ屋外広告物の掲出は避けます。また、規模、形態、色調は、設置する建物の壁面の大きさや色彩、周辺のまちなみとの調和に配慮します。 ● 電飾看板や派手な照明は避けます。	具体の基準は商業者による話し合って決めるのが望ましいとの意見がありました。
	8. 路地・小径	● 路地や小径の道路境界部分は、魅力的、かつ、安全安心な空間とするために、透過性の高い塀や生垣とします。	

このほか、

- ・ 駅前広場や通りなどに愛称をつけてはどうか。
- ・ 協議会や事務局名で愛称募集コンテストなどを行うと良いと思う。

といった意見もありました。



次回の協議会(10月27日開催予定)で内容を再度確認し、協議会の提案事項としてまとめることになりました。



次回協議会のお知らせ

成東駅前広場 空間デザインコンペ審査会を行います！

～皆様のご参加をお待ちしています～

協議会は、成東駅南口駅前広場の整備の際に配置するベンチや街灯など（ストリートファニチャーといいます。）のデザインを検討するため、大学生及び大学院生を対象にストリートファニチャーのデザインや空間演出の提案を募集しました。

今回の協議会では、会員の皆様に審査員となっただけ、将来の成東駅前にふさわしい空間デザインを話し合う予定です。

皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成25年10月27日（日）14:00～
（13:30頃から入室可能です）

開催場所：山武市役所車庫棟2階 会議室

問合せ：山武市都市整備課

成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局
（0475-80-1191・1192）

コンペとは・・・
外部の複数の人に計画や設計を提案してもらい、優れたものを選ぶ競技会のことです。

もともとは、英語の「コンペティション」の略で「競争、競技会」を意味します。



千葉日報に募集記事が掲載されました

9月24日付けの千葉日報にコンペの募集記事が掲載されました。（千葉日報ホームページにも掲載されています。）
<http://www.chibanippo.co.jp/c/news/local/157711>

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。

なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースでご紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課

成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局

〒289-1392 山武市殿台296

ファクス：0475-82-2107

電子メール：toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。



成東駅前広場 空間デザインコンペ審査会を行いました

平成25年10月27日(日)に、平成25年度 第4回まちづくり協議会を開催し、15名の会員に出席いただきました。

当日は、成東駅南口駅前広場の整備の際に配置するベンチや街灯など(ストリートファニチャーといいます。)のデザインや空間演出の提案募集に応募した2組を招き、提案説明を受けた後に会員による審査を行いました。



コンペとは・・・
外部の複数の人に計画や設計を提案してもらい、優れたものを選ぶ競技会のことです。
もともとは、英語の「コンペティション」の略で「競争、競技会」を意味します。

コンペ実施要綱(抜粋)

テーマ： 「ほっと」する、舞台装置としてのストリート・ファニチャー

■参加要領：

1. 応募資格：大学生及び大学院生
2. 応募方法：メールによる応募登録
3. 応募登録締切：2013年9月30日

■提出物：

1. 設計図(縮尺自由)およびスケッチ
2. 模型
(縮尺 1/10 程度)
3. 敷地図(周辺を含む)
(デザインしたストリート・ファニチャーをレイアウトした図面)
4. 全体のイメージパース
5. 説明文

■現地説明会：

1. 開催日：平成25年8月5日 13時
2. 場所：山武市役所

■審査員：

成東駅南側周辺まちづくり協議会

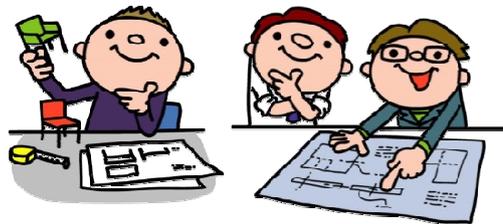
■テクニカルアドバイザー：

植田 憲
(千葉大学工学部デザイン科学教授)
佐藤 公信
(千葉大学工学部デザイン科学教授)

■トータルコーディネーター：

中谷 正人
(千葉大学工学部
都市環境システム学科客員教授)

■主催：成東駅南側周辺まちづくり協議会
後援：山武市都市建設部都市整備課



※提案されたデザインは、実現に向けてテクニカルアドバイザー等のご協力をいただきながら、継続検討していくこととしています。



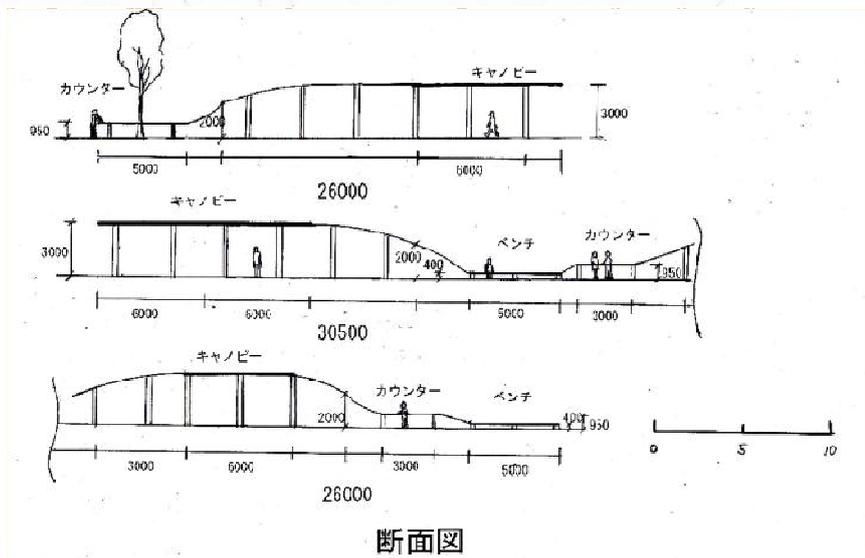
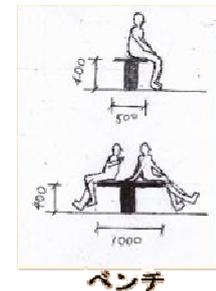
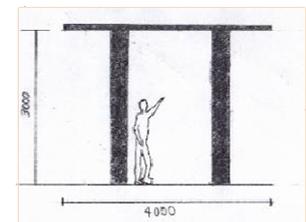
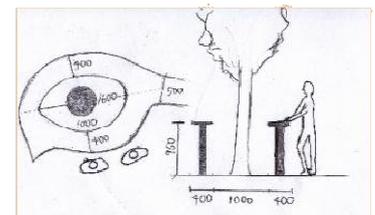
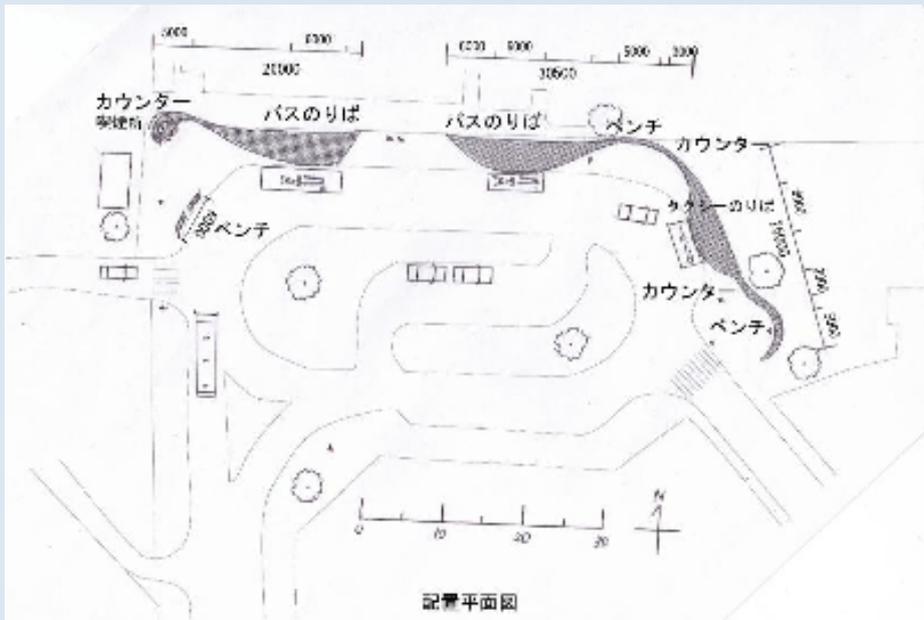
提案者1. 高橋咲さん(千葉大学工学部都市環境システム学科3年)

「さんむ」という家の玄関兼リビングとなる、成東駅前広場のためのストリートファニチャー

山武、成東駅に着いた時に感じる、どこか懐かしい安心感・雰囲気をもそのまま街に流し、そのほっとする空気と、山武杉のあたたかみによってできる落ち着ける空間を広場として提案します。

夕暮れどきがとても綺麗な作田川の形をモチーフにし、「流す」形を表現しました。

はじめて訪れる人も、帰ってくる人も、駅から次の行き先までのいっぴくができ、それがまちの風景の一つとなることを期待して提案しました。



「海と田んぼと山の駅」



デザインのコンセプト

駅を訪ねる人々に「ホット」した印象を与えるため、以下のことを考えました。

- ・自然に近い材料を利用する
- ・地域のもの、地域の資源を利用する

さらに地域活性化のため、以下のことを考えました。

- ・地域の良さが分かりやすい空間をデザインする
- ・地域の住民が交流し、地域の様々な活動に参加できるような空間をデザインする



デザイン提案

1. 駅前空間

- ・駅の床のタイルブロック
- ・組子のアート
- ・バス停のフレットフォーム
- ・バス停のベンチ
- ・フェンス
- ・植樹
- ・照明

2. 駅前の街並み

- ・空き店舗を利用した「展示場」
- ・空きスペースを活用した「青空市場」
- ・自動車利用者向けの誘導看板
- ・ホームページを作成する など

空き店舗活用のイメージ



「無店舗の空き店舗を展示場として利用する」

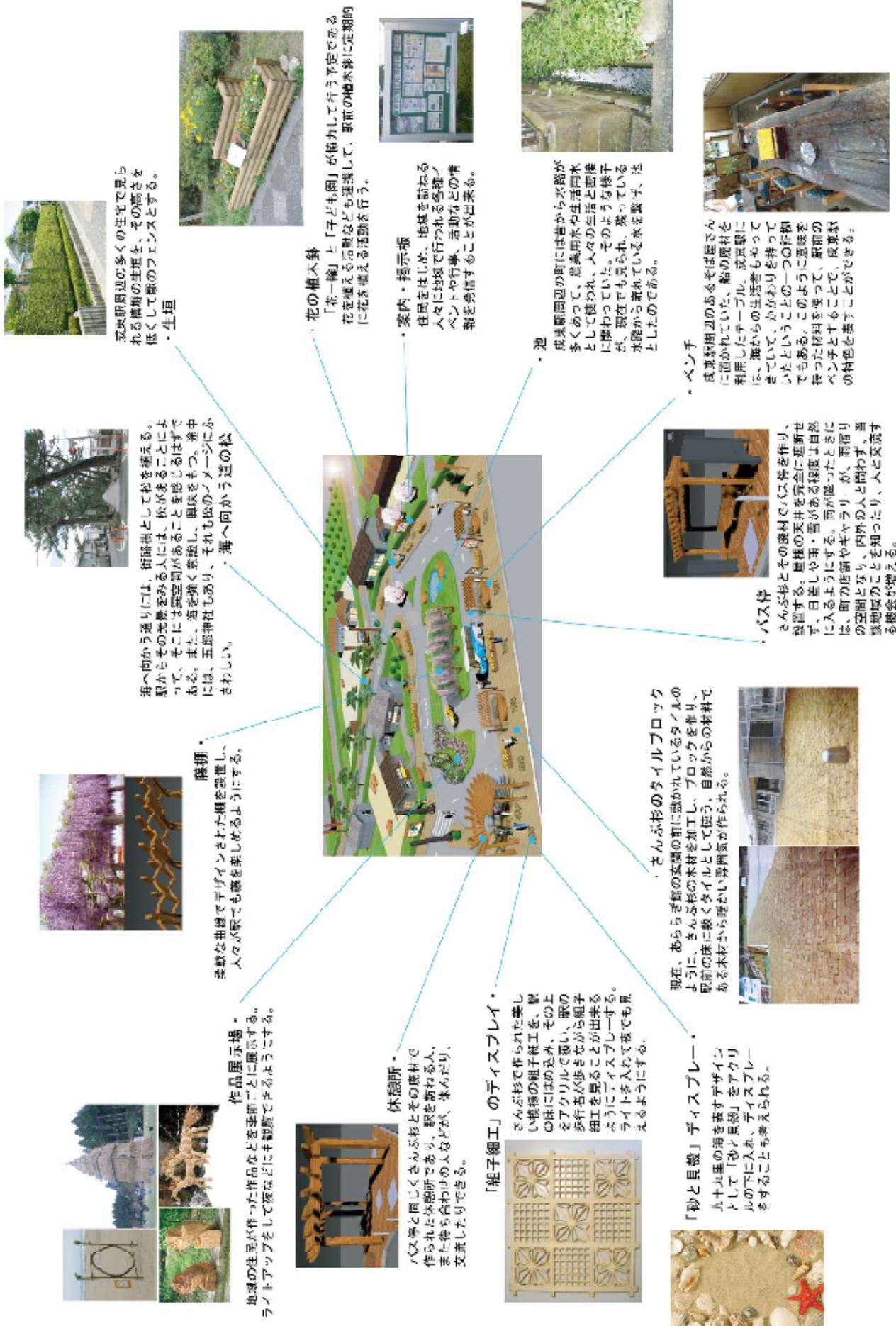
青空市場のイメージ



看板のイメージ



「海と田んぼと山の駅：成東」構成イメージ



2組の提案を受けて、意見交換を行いました

提案者のプレゼンテーションが終わった後に、意見交換を行いました。

高橋さんの提案は、とてもユニークなデザインですが、シンプルで主張しすぎない空間演出に良い印象を持ったという意見が多く寄せられました。

張さんたちの提案は、歴史などを詳しく調べて駅前のデザインに盛り込んだほか、駅前の賑わいや海を意識した植樹など、幅広い提案に良い印象を持ったという意見が多く寄せられました。

また、どちらの提案もとても良く、甲乙つけがたい、2つの提案を融合したいという意見が非常に多く寄せられていました。



当日参加した会員全員で投票を行いました

協議が終わった後、中谷コミュニケーション・ディレクター、齋藤バイス・コミュニケーション・ディレクターを除く会員全員が、それぞれ投票を行い、最優秀賞、優秀賞を選定しました。

審査のポイント

成東駅南側周辺地区で目指すまちづくりの理念（テーマ）に適合しているもの。

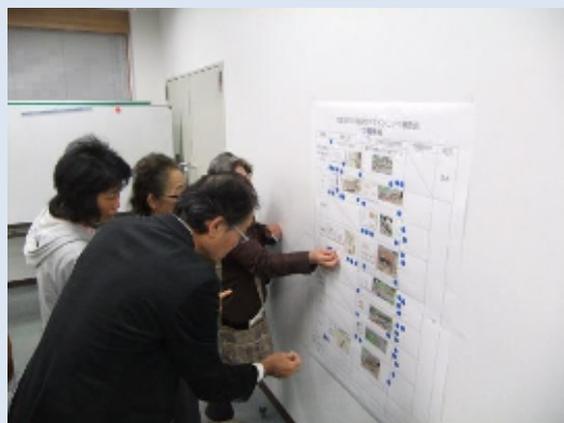
①造形的に美しく、周辺の街並みと調和して空間全体の魅力を高めるもの。

②デザイン性に優れているもの。

③独創性のあるもの。

※1 今回のコンペは、成東駅前広場にふさわしいと思われるデザインを審査していただくことを目的としているため、実現性は審査の対象としませんでした。

※2 実現に向けて、ツカサドバザ-等のご協力をいただきながら、検討していくこととしました。



投票の様子

最優秀賞

張 暁静さん (千葉大学大学院
工学研究科 デザイン科学専攻
張 夏さん デザイン文化計画研究室
路 鵬さん 修士1年)

優秀賞

高橋咲さん
(千葉大学工学部都市環境システム学科
3年)

表彰式の様子



表彰式を終えて

功ニカドバ イ - 植田憲教授（千葉大学工学部デザイン科学）のコメント

今回のコンペで一番よかったと思うのは、私を含め、学生たちが皆様のところにお邪魔をさせていただいて、生活とは何なのか、その中でどういう造詣がこれまで生み出されたのかなど、様々なことを学ばせていただいた点だと思います。

これからも、地域の方々が元気に楽しく豊かな暮らしができ、かつそういう資源を媒介として外の人と連携できていくような取り組みと一緒にやらせていただければと思っています。



椎名市長のコメント

今日は高橋さん、それから張さんをはじめ4人の方々、準備に相当の時間がかかったと思いますが、ご参加いただいて本当にありがとうございました。

今回の発表の中で感じたことは、まちは1回作ればそれで終わりということではなく、生きているものだということです。

常に手を加え、私たちそこに住む人間と一緒にあってまちも成長し、もう一度息を吹き返して素晴らしい街並みになっていくのだと思います。

これからも頑張ってもらって皆さんとともに行政としてもまちづくりに励んでいきたいと思っていますので、引き続きお力添えをお願い申し上げて御礼といたしたいと思っています。ありがとうございました。



景観配慮事項の確認について

コンペの審査会と併せて、第3回協議会で審議した、「街並み景観形成の配慮事項（案）」の修正案の確認と意見交換を実施しました。

記載内容の一部に表現の変更を行った方が良いとの意見があったことから、次回協議会の際に再度確認を行うことになりました。



提案者を囲んでの記念撮影

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。
なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースでご紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課
成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局
〒289-1392 山武市殿台296

ファクス：0475-82-2107

電子メール：toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。



駅前広場のデザイン方向性について協議を行いました

平成25年12月8日(日)に、平成25年度 第5回まちづくり協議会を開催し、13名の会員に出席いただきました。

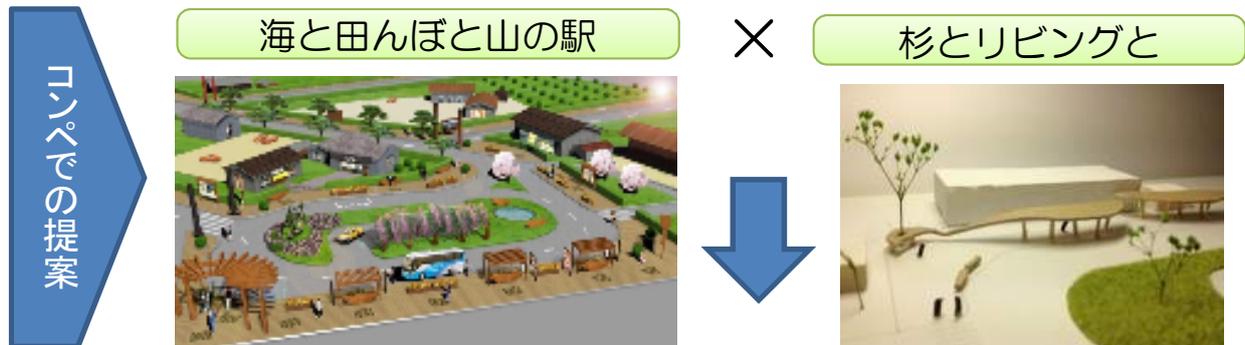
当日は、第4回協議会(成東駅前広場空間デザインコンペ審査会)の結果を基に、駅前広場のデザイン基本方針と、各ストリートファニチャーのデザイン方針について協議を行いました。

今回の協議結果を基に、コンペ提案者の千葉大学の学生の皆様にご協力いただき、実現に向けた検討を進めていくこととなります。



駅前広場のデザイン基本方針

第4回協議会で提案者からご提案いただいたそれぞれのコンセプトを組み込み、デザイン基本方針として整理しました。



駅前広場のデザイン基本方針

- ・緩やかな曲線を用いたデザインとする。
- ・山武杉等の地域資源を活用する。(広場内の調和を図るため、部分使用も可とする)
- ・組子細工や砂浜などデザインのアクセントとして活用する。
- ・樹木や地被類など緑を取り入れた配置とする。
- ・高さなどの面で目障りにならないデザインとする。(今回の協議会で新たに追加)



各ストリートファニチャーのデザイン方針

提案者のご協力による各ストリートファニチャーのデザイン進展状況について事務局の報告を受け、引き続き検討を行っていただくためのデザイン方針について協議を行いました。

①バスキャノピー

■前回の提案と評価

- ・コンペにおいて高い評価を得た。



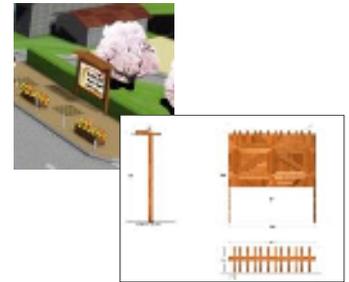
■デザイン方針

- ・キャノピー全体のデザインは提案通りとし、具体化に向けて引き続き検討を進めていただくことになりました。

②案内板

■前回の提案と評価

- ・コンペにおいて高い評価を得た。



■デザイン方針

- ・駅周辺の風景と連動する案内を行う。
- ・案内内容にあわせてデザインを行う。
- ・風景の邪魔にならないような方法を考える。

などの協議会内での意見を配慮し、検討していただくことになりました。

③舗装材

■前回の提案と評価

- ・コンペにおいて注目度が高かった。



■デザイン方針

- ・木製のブロックの技術的チェックは事務局が行い、引き続き検討を進めていただくことになりました。

④ベンチ

■現在の提案と評価

- ・評価・要検討が分かれた。



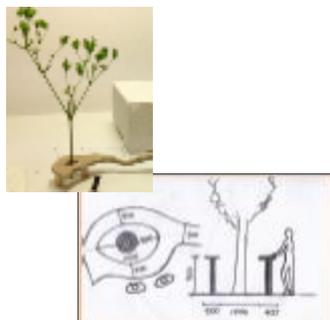
■デザイン方針

- ・ベンチの設置位置のほか、案内板を見る人向けに案内板と一体となったベンチができるかを検討していただくことになりました。

⑤カウンター

■現在の提案と評価

- ・コンペにおいて高い評価を得た。



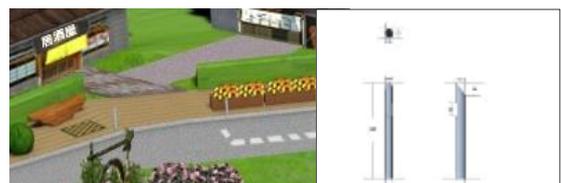
■デザイン方針

- ・樹木を囲むため、鳥の糞や根の盛り上がり等を考慮した上で、バスキャノピーと連続する流れの中で上手く処理ができるよう、検討していただくことになりました。

⑥照明、⑦車止め、⑧ガードパイプ

■現在の提案と評価

- ・照明：コンペにおいて要検討が多かった。
- ・車止め、ガードパイプ：事務局からの追加提案。



■デザイン方針

- ・事務局側で照明計画を作成し、足りない部分に設置するものを車止めやガードパイプと一体的にデザインしていただくことになりました。

⑨樹木

■現在の提案と評価

- ・事務局からの追加提案。



■デザイン方針

- ・根が盛り上がらないなど歩道にダメージがでないもの。
- ・シンボルツリーの設置。

などの意見を考慮して、事務局で検討を進めることになりました。

⑩交通島

■現在の提案と評価

- ・コンペにおいて要検討が多かった。



■デザイン方針

- ・既存のモニュメント等の活用。
- ・後ろの建物を見せたり、メンテナンスを考慮し、ツツジなど花が咲く低木を組み合わせる。
- ・砂利は使わず、緑を使った交通島とする。

などの意見を考慮して複数案を提示してもらい、改めて議論することになりました。

なお、モニュメントと池については、協議会内で話し合った結果、デザイン検討の対象外とすることになりました。



次回（3月16日開催予定）は

「駅前広場のデザインの具体案」

について検討を行います。

次回は、千葉大学の学生の皆様から駅前広場の模型を使ったストリートファニチャーのデザインの再提案をいただき、協議会で検討を行う予定です。



皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。
なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースでご紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課
成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局
〒289-1392 山武市殿台296

ファクス：0475-82-2107

電子メール：toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。



街並み景観形成の配慮事項(案)がまとまりました！

平成26年3月16日(日)に、平成25年度 第6回まちづくり協議会を開催し、17名の会員に出席いただきました。

当日は、協議会内で話し合いを進めてきた街並み景観形成の配慮事項の確認と、駅前広場デザインの進展案について協議を行いました。

今後、街並み景観形成の配慮事項については今年度末の提言書提出に向けた最終とりまとめを行います。

また、駅前広場デザインについては今回の協議結果を基に協力をいただいている千葉大学の学生の皆様にご協力いただき、最終案の検討を進めていくこととなります。



街並み景観形成の配慮事項(案)の確認

第4回協議会でのご意見を受けた事務局案(街並みの圧迫感の軽減等のため、建物だけでなく、物置等の工作物についても道路境界部から0.5m~1m程度離すことを追記)について、協議会の中で話し合いを行いました。

<<街並みの圧迫感軽減のイメージ>>



■道路境界部から一定程度の範囲については、建物・工作物(物置等)は設置しない。ただし、可動式のもの設置は可とする。

■セットバックした空間において高い塀を設けない(市内事例)

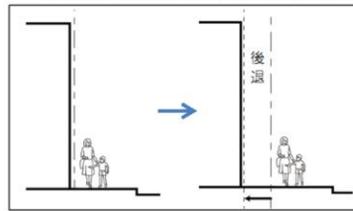
話し合いのまとめ

・配慮事項について、以下の修正を行うことで会員の皆さんの了承を戴きました。

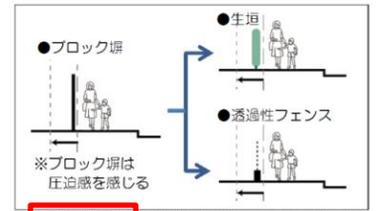
→居住者のプライバシー確保の観点から「目線より低い」という記述を外す。

→制限よりも、目的やあるべき姿を強調した表現とする。

・その他、50cm~1mなどの数値基準が一人歩きすると良くないので、今後、景観計画で制限を行う場合などは、内容を十分に検討してほしいという意見がありました。



■建物を道路から離す事で圧迫感が軽減



■目線より低い生垣や透透性のフェンスとする事で圧迫感が軽減



今回で街並み景観形成の配慮事項についての協議が終了し、提言書として椎名市長に提出することになりました。



駅前広場のデザイン 進展案について

千葉大学工学部デザイン科学の植田憲教授のご指導の下、成東駅前広場空間デザインコンペに応募いただいた、学生の皆様による駅前広場デザインの進展がなされました。

進展に当たっては、前回の協議会で議論した「駅前広場の基本方針」に加え、「街並み景観形成の配慮事項（案）」で建物の圧迫感の軽減や賑わいの演出に取り組んでいくことから、駅を出て広がる街並みが映えるよう意識していただきました。



千葉大学の学生の皆さんが作成した模型デザイン(南側から駅舎方向を撮影)



※この模型は学生の皆さんが作成したものであり、駅前広場デザインの最終案ではありません。

協議会での意見の概要

千葉大学の学生の皆さんが作成した模型デザインを実現するための修正検討状況について、事務局から中間報告を行い、協議会内で話し合いを行いました。

①バスキャンピー

【中間報告】

- ・駅舎と身障者用乗降場・タツ-乗降場をつなぐ屋根機能の検討をすすめます。
- ・歩行者動線の確保のため、歩道部分の通行や、バス・タツ-乗降などの支障にならないよう検討中です。
- ・カルピ-に人が登れないよう検討中です。
- ・圧迫感を感じにくい街並みを目指す観点から、一般乗降場のカルピ-設置は見送ります。
- ・部分的に杉材を使用したいと考えます。

【意見の概要】

●安全面の配慮について

- ・バス乗降位置などはあらかじめ決まっていると思うので、位置を気をつければデザイン重視で良いのではないだろうか。
- ・歩行者がカルピ-の傾斜部にぶつかる可能性があるため流れは駅舎建物側に設置した方が良いのではないだろうか。

●利用者への配慮について

- ・風よけのため、ガラス板（視線を遮らないため）などをベンチの裏に設置してはどうか。

●素材について

- ・部分的に鉄などを使うものの、最終的にできあがったときには木できているような雰囲気になりたい。
- ・作田川の流れを表現するため、交通島側の軒先を湾曲させるなどの演出も可能だと思われる。
- ・柱を金属の鏡面仕上げとしてもよいかもしれない。

歩道部分の通行や乗降時の人の流れのイメージ(赤矢印)



②舗装材

【中間報告】

- あららぎ館、市役所入口に設置している歩道のウッドブロックは耐久面や費用面で課題があり、全面を木製ブロックで整備することは難しいと考えています。
- 代替案として「アスファルト系」、「ブロック系」、「石材系」の舗装について検討中です。

【意見の概要】

●木製ブロックの部分使用について

- 部分的に木製ブロック等を使う場合は、その他の舗装材と連続性が確保できるよう色調などに配慮してほしい。
- 駅改札部分から木製ブロックなどを使用しているとよいのではないだろうか。
- 点字ブロックに木製ブロックを使用することができないだろうか。



③照明、④車止め、⑤ガードパイプ

【中間報告】

●照明

- バスカルコートとのバランスを考え、適宜、光の色、位置等を検討したいと考えます。
(道路と歩道部分を広く照らす照明灯の設置が求められており、高さ10m程度の位置に数基設置することが一般的です。)
- バスカルコートがアルミ製であれば照明を組み込むことが可能です。

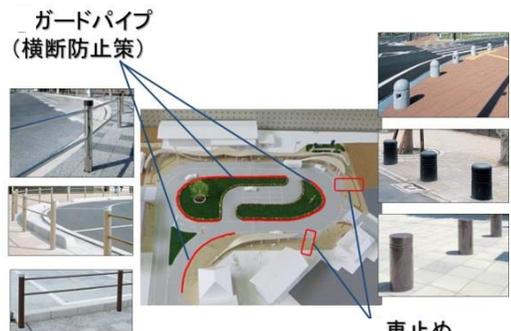
●車止め、ガードパイプ

- 設計技術者からの助言を基に、車止め・ガードパイプ（横断防止柵）を検討中です。

【意見の概要】

●ガードパイプの材料について

- 木製のものが使用できないか基準等を確認してほしい。



車止め、ガードパイプの設置位置とイメージ

⑥案内板

【中間報告】

- 案内板は観光案内所前に設置したいと考えます。
- 掲示面下に組子細工のデザインをあしらひ、掲示物がない場合にもデザインを楽しむことができるよう検討中です。
- 掲示物のサイズを統一したいと考えます。

協議会内でのご意見はありませんでした。



協議会での意見の概要

⑦ベンチ

【中間報告】

- ・市民カー制度による設置、維持管理、定期的な更新ができるよう検討を進めます。
- ・素材は杉の間伐材等の使用を考えています。
- ・場所は人の流れを考慮して、適宜設置したいと考えています。

⑧カウンター

【中間報告】

- ・歩行者動線に配慮して、観光案内所横と現緑地広場横に1箇所ずつ設置したいと考えます。
- ・バスヤルプ-との一体性については、歩道部分の通行に支障にならないよう検討中です。

⑨樹木

【中間報告】

- ・歩道内の樹木は加齢-部のみに留め、他は交通島内にツポルツリ-の設置を検討しています。
- ・樹種については引き続き事務局内で検討したいと考えます。

⑩交通島

【中間報告】

- ・「街並み景観形成の配慮事項(案)」で建物の圧迫感の軽減や賑わいの演出に取り組んでいくことから、低木、花と緑をしつらえたツポルツリ-な交通島とし、駅を出て広がる街並み空間を演出したいと考えます。

協議会内でのご意見はありませんでした。

今回の意見を受け、4月以降も引き続き協議会で駅前広場デザインの検討を進めることになりました。

椎名市長からコメントを戴きました

景観は、住んでいる方々の協力により共有の財産、公共の財産として捉え、地域の価値を上げていくという考え方もあり、住んでいる方々のパワ-感覚が大事だと感じます。ホッとするパワ-の空間をご提案いただければありがたいと思いました。



駅前広場デザインについても、全体のデザイン性をご提案いただき、その中できちんとしたものを整備していくとさ-っといいものができると思っています。

皆様のご検討は、将来に繋がる非常に創造的で夢のあるお話だと思いますので、ぜひとも最後まで頑張ってください最高のご提案をいただきたいと思います。ありがとうございました。

中谷C/Dからコメントを戴きました

昨年度の協議会の議論を通じて「ホッとさんむ」というまちづくりのテーマを設定しました。これは、ある意味では気持ち、心というか、駅前周辺をどうしようかという覚悟を決めたわけです。



今年度はそれを言葉で表し「街並み景観形成の配慮事項」について協議会で最終的な修正案をご了承いただきました。これについては後日、最終調整を行い市長に提言書としてお渡しすることになっています。

心の覚悟を決め、言葉に直した。これからそれが形になります。そういう意味では言いつばなしではすみません。今後もぜひ皆さんと一緒にまちづくり、駅前広場づくりに取り組んでいきたいと思-います。

※C/D: コミュニケーション・ディレクターの略

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースでご紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課
成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局
〒289-1392 山武市殿台296

ファクス: 0475-82-2107

電子メール: toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。

